

子どもの主体的な学びのために

学習の見通しとふりかえり

3年上 p.56

② たし算の筆算

1

あわせて何円になりますか。



式

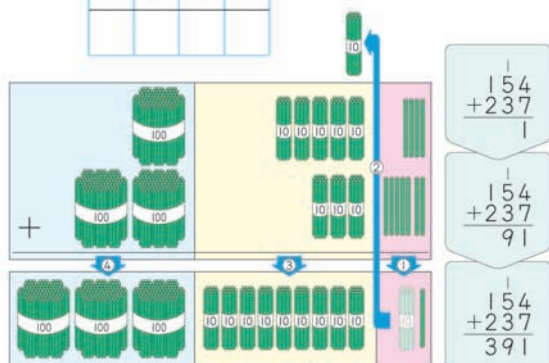
54
+37

はできるけど……



めあて 3けたの数の筆算のしかたを考えよう。

	1	5	4
+	2	3	7



$$\begin{array}{r} 154 \\ +237 \\ \hline 391 \end{array}$$

まとめ

たし算の筆算は、けた数が大きくなっても、位をそろえて一の位からじゅんに計算します。

②

$$\begin{array}{r} 154 \\ +218 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 616 \\ +157 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 269 \\ +105 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 853 \\ +29 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 308 \\ +304 \\ \hline \end{array}$$

56

もっと練習 125ページ (18)

定着

問題をといたら、□にするしをつけましょう。何回もくり返し練習しましょう。



リンク

3年上 p.125

① $\begin{array}{r} 549 \\ +336 \\ \hline \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 726 \\ +267 \\ \hline \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 365 \\ +208 \\ \hline \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 754 \\ +38 \\ \hline \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 409 \\ +405 \\ \hline \end{array}$

56ページ (2)

学習したことを、くりかえし練習できるように構成しました。

学びをいかにそう
算数わくわく算数学習

1. どんぐり算数 ① 学習のめあてをもちましよう。

1. 右のような図形の面積をくふうして求めましよう。

たいち: 複雑な図形なので、どのように考えればいかにわかってきますか。

ひなた: これまでに学習した図形の面積の求め方の知識の公式を使いましょう。

かいた: どのような図形の面積を求めるときに、長方形や正方形に分けて、つぎはたりまればいかに思います。

さくら: きれいな図形なので、分けたり組み合わせた方が楽に求められそうです。

たいち: 面積を求めようとしてくふうして求めましよう。

ひなた: これまでに学習した図形の公式を使って、簡単な図形の面積を求めましよう。

2. 自分で考えよう ② どのように考えを進めていくか、見通しをもちましよう。

ひなた: 縦に分けて4つの長方形にするか。

かいた: 2つ合わせた長方形になるから。

さくら: 横に長方形に分けて考えよう。

3. 自分で考えよう ③ 自分の考えを図式に表しましよう。

4. 自分で考えよう ④ わかったことをまとめましよう。

たいち: 複雑に見える図形も、これまでに学習した図形に分解して見ると、面積を求めることができる。

5. 自分で考えよう ⑤ ほかの解法でも考えてましよう。

6. 自分で考えよう ⑥ 右のような図形の面積をくふうして求めましよう。

7. 自分で考えよう ⑦ わかったことやもつとやめていかに考えましよう。

8. 自分で考えよう ⑧ 複雑に見える図形も、形を変えたり組み合わせたたりして、簡単な図形や式にして面積を求めることができる。これからはいろいろなくふうして図形の面積を求めたい。

9. 自分で考えよう ⑨ これまでに学習した考え方がとても使えたことは、とてもおもしろかったし、うれしかった。算数はこれまでに学習したことをもとに考える勉強だということがわかった。

10. 自分で考えよう ⑩ これからもこのように自分で考えて、楽しく学習ましよう。

1. 自分で考えよう ① 自分で考えといてるところやうところをみつけましよう。

2. 自分で考えよう ② わかりやすく発表ましよう。

3. 自分で考えよう ③ ひなたさん、長方形の面積の公式をうまく使ったと思います。でも、できた長方形を縦に横にわけても面積に表せます。

4. 自分で考えよう ④ なるほど、そうすると、 $(4+3+2+1) \times 2 = 20$ で20cm²です。

5. 自分で考えよう ⑤ 2つ合わせた長方形ができます。その半分だから、 $(1+4) \times 8 \div 2 = 20$ で20cm²です。

6. 自分で考えよう ⑥ このように考えることもできます。 $4 \times (8 \div 2) \div 2 = 20$ で20cm²です。

7. 自分で考えよう ⑦ 縦1cm、横2cmの長方形に分けて考えましよう。 $2 \times (1+3+2+1) = 20$ で20cm²です。

8. 自分で考えよう ⑧ わかりやすく説明ましよう。

9. 自分で考えよう ⑨ わかりやすく説明ましよう。

10. 自分で考えよう ⑩ わかりやすく説明ましよう。

学習に取り組む
態度が身につくよ
うに構成しました。

算数資料集
算数でよく使う考え方

算数の問題を解くときには、**にている**、**きまり**、**もどる**の3つの考え方が役立ちます。

算数資料集
わかりやすく説明ましよう

自分の考えを伝えるときには、聞いている人にわかりやすく説明ましよう。

算数資料集
考えがよくわかる わくわく算数ノート

考えがよくわかるノートのつくり方を学びましよう。

考え方、説明のしかた、ノートのつくり方などの資料を充実させました。

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、発達や学年の段階に応じた反復(スパイラル)による教育課程を編成しています。

また、子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるように展開しています。

単元導入

既習事項をしっかりと確認した上で、新たな学習内容に興味・関心のもてる単元導入にしました。子どもの生活経験を重視し、身近な題材や解決の必要感がもてる題材を取り上げています。

■ 巻頭単元

第1単元の単元導入では、ダイナミックな写真を見開きで掲載して、新学年のスタート時から子どもが興味・関心をもって意欲的に学習できるようにしました。

4年上 p.6-7



■ 作業的・体験的な活動

算数的活動の一環として、理解を深めたり、量感を身につけたりするために効果的な活動を取り上げています。

4年上 p.8

 色紙3まいとわりばし2本を使って、まるく開くおうぎをつくりましょう。



5年 p.15

算数アスレチック

◆ 復習 ◆

① ① $4.8 + 3.2$ ② $0.67 + 0.21$ ③ $0.46 + 0.54$ ④ 3.4×0.1
 ⑤ $5 + 6.84$ ⑥ $8.7 - 2.5$ ⑦ $0.58 - 0.16$ ⑧ 0.1×0.1
 ⑨ $1 - 0.72$ ⑩ $6.13 - 4.1$ ⑪ $4.6 - 0.21$ ⑫ 1.9×100
 ⑬ 0.4×6 ⑭ 0.7×10 ⑮ 1.9×100 ⑯ $4.8 \div 100$
 ⑰ $0.8 \div 2$ ⑱ $6.3 \div 10$ ⑲ $4.8 \div 100$

② ① 3.9×7 ② 8.5×1.2 ③ 3.05×3.4
 ④ $12 \div 5.6$ ⑤ $24 \div 76.8$ ⑥ $53 \div 20.14$

◆ 準備 ◆

① 下のような長方形と正方形があります。どちらがどれだけの面積ですか。

1cm
1cm

1cmの正方形の数を数えて確かめましょう。

のほうは $\square$ cm² 広い。

② $\square$ にあてはまることばをかきましょう。

① 長方形の面積 = $\square \times \square$
 ② 正方形の面積 = $\square \times \square$

2 体 積 16 ページ

算数アスレチック

復習・準備で構成しています。イラストを用いて、単元の内容ではないことを明確にしました。

準備

新しい単元に入る前のレディネスチェックのページです。系統的に繋がった既習事項を確認させることで、新たな学習内容の理解を促します。

重要な問題

準備の中で、特に確認しておきたい基本の問題を線で囲んで強調しています。

課題設定

既習の知識や技能, 考え方を
使って子ども自ら課題を発見
していく展開にしています。

問題

これまでに学んだことを
使って考える問題です。

これから学んでいくことのめあて

単元全体を見通しためあてです。

5年 p.16

2 体 積

① 上の2つの直方体の大きさをくらべましょう。

上の見取図を、うすい紙に写しとって重ねあわせてみましょう。

面積のときは……

はみ出した部分はどちらが大きいかな。

面積と同じようにかさも数えて表せるといいな。

面積のときは、1辺が1cmの正方形の何個分考えたから……

これから学んでいくことのめあて
直方体や立方体のかさの表し方や求め方について調べていこう。

16

本文ページ

学習内容が見渡せるように、1時間の指導内容を1ページ、または、2ページで構成しています。また、学習のめあてとまとめを示すことで子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるようにしています。

6年 p.43

学習のめあて

本時に学ぶべき内容や方法をめあてとして示しています。授業では、子どもたちが自らめあてを発見していく展開を期待しています。

学習のまとめ

本時で学んだ内容のまとめを示しています。

4

1 dLで $\frac{4}{5}$ m²ぬれるペンキがあります。
 $\frac{2}{3}$ dLのペンキでは何m²ぬれますか。



式



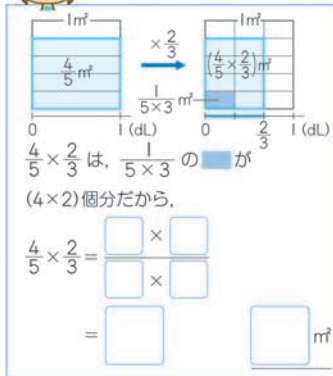
めあて 上の式の計算のしかたを考えよう。

この図のくわしいかき方は
280ページにあります。



リンク

ひなた



だい

$$\begin{aligned} \frac{4}{5} \times \frac{2}{3} &= \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 2 \right) \\ &= \left(\frac{4}{5} \times \frac{1}{3} \right) \times 2 \\ &= \frac{4}{5 \times 3} \times 2 \\ &= \frac{\quad}{\quad} \times \frac{\quad}{\quad} \\ &= \frac{\quad}{\quad} \times \frac{\quad}{\quad} \\ &= \frac{\quad}{\quad} \times \frac{\quad}{\quad} \\ &= \frac{\quad}{\quad} \text{ m}^2 \end{aligned}$$

まとめ 分数のかけ算のしかた

分数のかけ算では、分母どうし、 $\frac{b}{a} \times \frac{d}{c} = \frac{b \times d}{a \times c}$
分子どうしを、それぞれかけます。

これからは、
a, b, c, d
などの文字を
使います。



6年 p.280

上の数直線図は、下のようにかきます。

- かさ (dL) を表す直線をひき、
左はしに0をかく。
- 面積 (m²) を表す直線を、
左はしを0として、かさの
直線にあわせてひく。
- かさの直線上に1のかさの
点を取り、1とかく。
- 面積の直線上に、かさの直線上の
1にあわせて、 $\frac{4}{5}$ とかく。
- かさの直線上に、 $\frac{2}{3}$ の点を
きめ、 $\frac{2}{3}$ とかく。
- 面積の直線上に、かさの直線上の
 $\frac{2}{3}$ にあわせて、□をかく。

② $\frac{3}{4} \times \frac{1}{4}$ ③ $\frac{4}{3} \times \frac{4}{5}$ ④ $\frac{3}{5} \times \frac{7}{2}$

もっとう練習 → 257ページ ⑨

43

■ 算数資料集「数直線図のかき方」

主体的な学びをサポートするために、図のかき方など学習時に役立つ資料を巻末の「算数資料集」に掲載しています。

問題の流れ

■(一斉問題) → △(個々が取り組む問題) → ○(練習問題) のステップを踏むことにより, 子どもたちの理解がより確かなものになります。

3年上 p.57

■の問題

本時のテーマとなる問題です。自力で取り組んだ後, みんなで一緒に考えます。

△の問題

■の問題を少し発展させた問題です。自力で挑戦し, ■の問題で習得した考え方を拡張します。

○の問題

本時の学習の練習問題です。同型の問題をいくつか解くことで理解の定着を図ります。
なお, ■の練習と△の練習を別々に構成しました。

個への対応

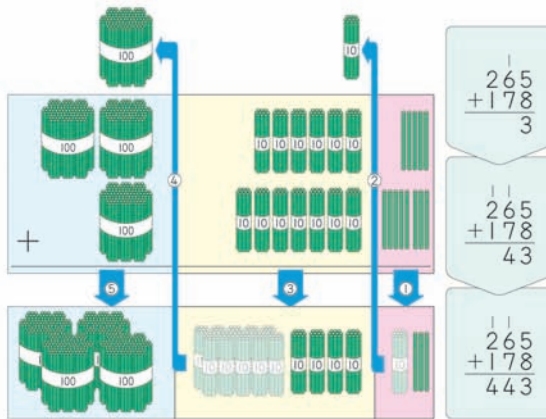
進度によっては色を付した問題のみで理解を確認するなど, 個に応じて扱うことができます。

3

265 + 178 の筆算のしかたを考えましょう。

	2	6	5
+	1	7	8

一の位にも
十の位にも
くり上がりがあるときは,
どうすればいいのかな。



4 538 + 267, 508 + 292 を筆算でしてみましょう。

5 ■の練習	① 265 + 189	② 584 + 368	③ 259 + 651	④ 276 + 65	⑤ 95 + 328
-----------	-------------	-------------	-------------	------------	------------

538 + 267 と同型

508 + 292 と同型

6 △の練習	① 165 + 337	② 228 + 76	③ 307 + 293	④ 208 + 95	⑤ 493 + 7
-----------	-------------	------------	-------------	------------	-----------

最初の問題に色付け

もっと練習 ← 125ページ (19)(20)

57



3年上 p.125

■ もっと練習

○の問題と同型の問題を巻末に用意しています。答えも掲載していますので, 子ども自身で理解を確認しながら取り組むことができます。

19	① 247 + 677	② 696 + 278	③ 362 + 248	④ 288 + 54	⑤ 84 + 437
----	-------------	-------------	-------------	------------	------------

57ページ (5)

20	① 276 + 428	② 339 + 65	③ 404 + 296	④ 309 + 96	⑤ 592 + 8
----	-------------	------------	-------------	------------	-----------

57ページ (6)

問題解決の思考

新しい問題を考えるときには、既習事項と結びつけて解決の糸口をさがっていきます。このような問題解決の思考が自然と身につくように、本文では、子どもの気づきとよく使う考え方を関連させて扱っています。(第4～6学年)
また、思考法単元(主にイルカマークの単元)は、いつの時代にも必要とされる論理的な思考を養うことができるコーナーとして、永年にわたり系統的に取り扱っています。

**ずっと大切に
していること**

■ 子どもの気づき

ページの右端部分にある子ども自身や友だちの心の声(きっかけ・ふりかえりなど)が問題解決を支援します。

6年p.15

8 直線ABが対称の軸になるように、線対称な図形をかきましょう。

きっかけ
対応する2つの点を結ぶ直線は対称の軸とどのように交わっていたかな。

算数教科書
→276ページ

ふりかえり
線対称な図形の性質にもっと考えればよかったよ。

きっかけ

問題を考えていくときのきっかけとなる気づきを示しています。

ふりかえり

問題解決に役立った考え方や大切なポイントを示しています。

よく使う考え方

「きっかけ」、「ふりかえり」の欄に記述されている「にている」、「きまり」、「もどる」は、いろいろな問題解決場面で役立つ考え方です。

■ 思考法単元(文章題)

さまざまな図や表を手がかりにして合理的に問題解決にあたることで、子どもたちの思考力を伸ばします。
各学年の指導内容にも配慮して系統的に扱っています。
(領域別系統一覧表「文章題」64, 65ページ参照)

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
問題数	6	22	22	12	15	23

5年 p.68

考えを広げよう、深めよう
同じものに目をつけて

さしひいて考えて

1 遊園地の入場券1まいと乗り物券7まいを買うと、1200円になりました。入場券1まいと乗り物券5まいでは、1000円になるそうです。乗り物券1まいのねだんは何円ですか。

入場券と乗り物券5まいのねだんをさしひいて考えましょう。

6年 p.190

割合を使って
全体を1とし、割合を考えて

1 たくやさんは、家から駅まで行くのに、歩けば20分、走れば8分かかります。

● 1分間に歩く速のりは、家から駅までのどれだけにあたりますか。また、走る時はどうですか。

家から駅までの道のりを1として考えましょう。

● たくやさんは、はじめ15分間歩き、そのあと走って駅まで行きました。走った時間は几分でしたか。

② 1では、はじめ6分間走って、そのあと歩いて駅へ行くと、何分歩くことになりますか。

単元のまとめ

子どもたちが自分で学習の成果を確認し、その後、補充したり、新しいことに挑戦したりすることは大切です。

単元のまとめでは、子どもたちが自ら学習を進めることができる展開にしています。

■ たしかめましょう 評価の4観点に対応した自己評価問題を取り上げています。

子どもたち自身で学習の成果を確認できるようにチェックボックスを設けています。

5年 p.26

ふりカエル

つまずいた箇所に戻れるようにしています。

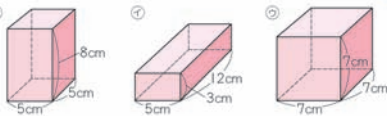
✓ たしかめましょう

知識・理解

- ① ☐ にはあてはまる数をかきましょう。
- ② 1cm^3 は、1辺が 1cm の立方体の体積です。
- ③ 1m^3 は、1辺が 1m の立方体の体積です。

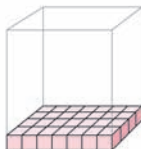
技能

- ② 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。



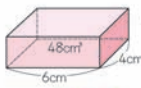
数学的な考え方

- ③ 体積が 1cm^3 の立方体の積み木を右の図のようにならべ、これを8だん重ねて、直方体をつくらうと思います。
- 立方体は、全部で200個あればたりますか。



技能

- ④ 体積が 48cm^3 の直方体があります。
- たて4cm、横6cmのときの高さは何cmですか。



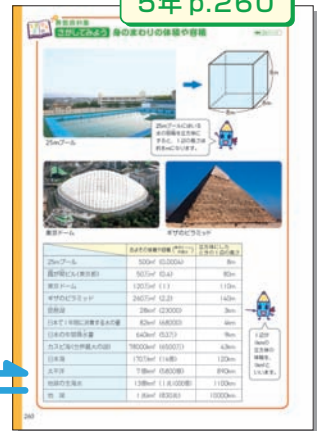
関心・意欲・態度

- ⑤ **学習の感想**をかきましょう。

■ さがしてみよう

学習と関連する身のまわりのものを資料としてオプションに掲載しています。

5年 p.260



リンク

■ やってみよう

学習したことをいかして取り組める問題をオプションに掲載しています。

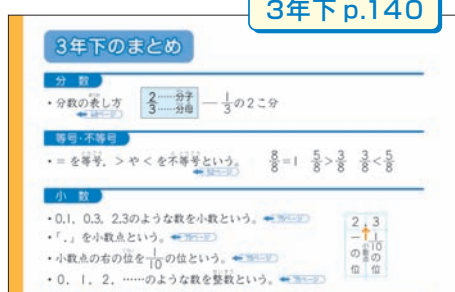
5年 p.224



巻末のまとめ

巻末にその巻の学習内容の重要項目をまとめています。その内容を学習したページも付記しています。

3年下 p.140



算数学習で習得した基礎的・基本的な知識や技能を生活や学習に活用する場面を多く設けました。子どもの興味・関心を喚起する内容や算数的活動を扱っていますので、意欲的に学んでいくことができます。また、探究活動に取り組む場面も用意しています。

豊かな感覚

子どもたちがこれから生活していく上で、豊かな数感覚や量感覚を身につけておくことは、いつの時代にも必要なことと考えています。基礎的な計算力や基準となる量感を身につけた上で、数量の見積もりができるように構成し、永年にわたり系統的に扱っています。

ずっと大切に
していること

2年上 p.22

6

チューリップが 17本 さいて います。
あと 4本 さくと 何本に なりますか。

しき

20より 多く
なります。

めあて を つかって、計算の しかたを 考えよう。

20に するに、
あと 3を たせば
いいです。

4を 3と 1に
分けます。

17に 3を たして
20です。
20と 1で 21です。

17+4= 本

基礎計算（暗算）

17+4などの簡単な暗算は、筆算の学習や九九の構成の際に必要なだけでなく、見積もりなどの数感覚を養う上でも重要です。基礎的な計算力が身につくように、スモールステップで展開しています。

説明する活動

計算のしかたを具体物操作などに関連づけて説明する活動を取り入れています。

1年 p.144

まなびを いかそう
かえますか？ かえませんか？
その わけも いいましょう

チョコレート 48円 ガム 47円

1 けんたさんは おかしを かいに いきました。

ア で チョコレートが かえますか。

チョコレートは 50円より やすいから かえます。

イ で ガムが かえますか。

ガムは 50円より から

ウ と で チョコレートと ガムが かえますか。

どちらも 50円より やすいから

■ 買えますか？ 買えませんか？ （第1～3学年）

所持金でどれだけのものが買えるか、買えないかを考えます。そのわけを述べる活動を通して、数感覚を磨きます。

6年p.184

学びをいかそう
見積もりを使って

切り上げ・切り捨てを使って

1 だいちゃんたちは田植えについて調べています。

1aの水田で育つ稲の数は約27000本で、1本の稲から約140つぶの米がとれるそうです。
1aの水田から米が何つぶくらいとれるかを、だいちゃんは次のように見積もりました。
だいちゃんの考え方を説明しましょう。

140×27000
[切り上げ] [切り上げ]
 $200 \times 30000 = 6000000$
約600万つぶ

田植えは、ふつう、育苗箱で育てた苗を、田植え機で植えていきます。
1つの育苗箱で約63㎡の水田に苗を植えることができます。
1198㎡の水田にどれだけの育苗箱がいるかを、ひなたさんは次のように見積もりました。
ひなたさんの考え方を説明しましょう。

$1198 \div 63$
[切り上げ] [切り捨て]
 $1200 \div 60 = 20$ 約20箱

2 10kgの米つづの数を数えると、約479000つぶでした。
1本の稲から約140つぶの米がとれるとすると、
10kgの米をとるにはおよそ何本の稲がいりますか。

184

■ 見積もりを使って
(第4～6学年)

数を概数として捉えて見積もる計算は日常生活でたいへん役に立ちます。また、見積もりは計算の答えを簡単に確かめたりするときにも必要な力です。

■ 基準量をとらえて見積もる

量感覚を身につけるために、まず、体験的な活動を通して基準となる量の感覚をつかむようにしています。その後、1Lなどの基準量の感覚を活用して、身近にあるものの量を見積もる活動を通して、量の感覚を豊かにしていきます。

2年上 p.87

1Lは どれくらい

1 いろいろな いれものに、1Lと 思う かさだけ水を入れて みましょう。

これくらいかな？

1Lですて ためて みよう。

2年上 p.88

学びを いかそう
何Lくらい

1 いろいろな いれものに はいる 水 の かさを よそうして みましょう。
また、どの ますを つかうかを きめて、いれものに はいる 水 の かさを はかりましょう。

1Lの 水が このくらいまではいったから……
だいたい 3Lかな。

1dLの 水が はいるかな。
1dLより 多いかな。

6Lの バケツで 2はいくらい水が はいりそうだから、
6+6で だいたい 12Lです。

いれもの	よそうした かさ	つかう ます	はかった かさ
なべ	3L	1Lます	3L2dL

2 200mLに 近い いれものは どれですか。

⑤ 牛にゅうびん ⑥ せんめんき ⑦ 目やすりのようき

88

活用から探究へ

習得した知識を活用することに加えて、理解や考えをさらに深めていくコーナーを設けました。探究活動の一環として、調べたり、考えたりしたことをレポートにまとめる活動を多く取り上げています。

■ 算数実験室 (第3～6学年)

学習したことを活用し、実験することで理解を深めるコーナーを設けました。理科と同様に「予想→実験→結果→考察」の順に学習を進めます。

3年上 p.44-45

学びをいかそう 算数じっけん室
マンホールのふたの形

まちで見かけるマンホールのふたは、円の形をしているものが多くあります。

マンホールのふたは、円になっているものが多いわけを調べてみました。

いろいろな形のマンホールをつくって、じっけんして確かめてみました。

【仮定】145ページの《いろいろなマンホール》をばって、じっけんしてみよう。

《いろいろなマンホール》のつくり方

- ① 半と半をうらへおいて、立てる。
- ② ①のふたを内がわおいて、とめる。

じっけんレポートをつくってみましょう。

マンホールのふた調べ

○調べること

マンホールのふたの形が、ほかの形より円のほうがよいわけを調べる。

○予想

ふたの形が三角形だとあなにおちてしまいそうだけど、正方形や円ならおちないと思う。

○きっかけ

○きっかけから考えたこと

じっけんをして、気づいたことを話し合いましょう。

円のはらはらな形なので、どれも同じ高さになっているけれど、ほかの形のものは同じ高さではありません。

まちには、円のほかにもあるか調べてみました。

感想

円いもの形には、それぞれその形にしたわけがあることがわかりました。

■ みらいへのつばさ (第3～6学年)

子ども自身の生活を見直し、見通しをもって計画を立てるコーナーを設けました。立てた計画を実行してみることも期待しています。題材については、食育や防災教育などの社会的に話題性の高いものを取り上げています。

5年 p.216-217

学びをいかそう みらいへのつばさ
食卓バランス計画

健康で豊かな食生活にするためには、食卓の量や栄養のバランスに気をつけることが大切です。

1日の食事について見直しましょう。

【仮定】バランスのとれた食事計画を立てよう。

① 話しあってみよう

1日に「何食」「どれだけ」「何を」食べるのかを、いろいろなものをバランスよくとることを。

② 調べてみよう

次の資料の主食、副食、主菜、牛乳・乳製品、くだものを、どれもバランスよくとる。

1日分

主食	副食	主菜	牛乳・乳製品	くだもの
① ポイント ごはん(白米)	① ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	① ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	① ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	① ポイント りんご・バナナ・みかん
② ポイント ごはん(雑穀)	② ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	② ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	② ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	② ポイント りんご・バナナ・みかん
③ ポイント ごはん(雑穀)	③ ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	③ ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	③ ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	③ ポイント りんご・バナナ・みかん

③ 計画を立てよう

主食	副食	主菜	牛乳・乳製品	くだもの
① ポイント ごはん(白米)	① ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	① ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	① ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	① ポイント りんご・バナナ・みかん
② ポイント ごはん(雑穀)	② ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	② ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	② ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	② ポイント りんご・バナナ・みかん
③ ポイント ごはん(雑穀)	③ ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	③ ポイント お肉・お魚・お豆腐・お野菜	③ ポイント 牛乳・ヨーグルト・チーズ	③ ポイント りんご・バナナ・みかん

それぞれの料理のポイントの数を、1日分のポイントにそろえてみましょう。

■ 夏休みの算数の自由研究

疑問に思ったことやもっと深く考えてみたいことを, 夏休みの自由研究として自主的に取り組めるように構成しました。算数を通してものごとを探究していく活動を期待しています。

6年 p.94-95



■ 算数卒業研究

6年間の算数学習で学んできたことを活用して, 過去の偉大な数学者が考えたことを探究していくコーナーを第6学年の最後に用意しました。算数でよく使う考え方を使って学習を深め, 最後に算数・数学を学ぶ意義を考えます。

6年 p.226-227



6年 p.236

